

26年11月分 プレカットの荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成26年 10月20日～ 26年11月10日

2. 調査実施方法

全国のプレカット工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
11月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) プレカット加工用部材の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/11月	26/12月	27/1月
仕入 動向	国産材製材品	△ 7.1	△ 35.7	△ 35.7
	外材製材品	0.0	△ 21.4	△ 35.7
	構造用集成材	0.0	△ 8.3	△ 33.3
消費 動向	国産材製材品	21.4	△ 21.4	△ 35.7
	外材製材品	7.1	△ 28.6	△ 35.7
	構造用集成材	16.7	△ 8.3	△ 25.0
在庫 動向	国産材製材品	△ 7.1	△ 21.4	△ 28.6
	外材製材品	△ 14.3	△ 14.3	△ 28.6
	構造用集成材	△ 8.3	△ 8.3	△ 16.7

・国産材製材品の仕入れは3ヵ月連続して減少、外材製材品及び構造材集成材は11月の横ばいの後、12月、27年1月は減少に。

・プレカット加工用部材の消費はどの品目も11月は増加するが、12月、27年1月は減少に。

・在庫はどの品目とも3ヵ月連続して減少。

(2) プレカット工場受注動向 Weight. D. I.

品目	26/11月	26/12月	27/1月
受注	35.7	△ 14.3	△ 35.7
加工	35.7	△ 14.3	△ 42.9
受注残	△ 7.1	△ 21.4	△ 42.9

・受注及び加工は11月の増加から、12月、27年1月とも減少に。

・受注残は3ヵ月連続して減少。

モニターからのコメント

(加工用部材荷動き)

・自社製材で対応中、スギ原木丸太は順調に入荷、価格高止まり。消費は不需要期に向かい減少傾向。在庫減らしに突入。
・先々の予定に力強さを感じられないためブレーキをかけながらの仕入れ。消費には力強さが無い。在庫は平均ボリュームを維持する。
・10月中～11月は確定物件が順調に入っている。邸別発注のため在庫は少なく横ばい。
・今の所順調に入荷、全体的に需要が多くないようでバランスはとれている。為替の影響が心配だが今のところない。

(受注動向)

・冬の建て方は大幅に減少、受注・加工・受注残全て減少傾向。
・先々の予定がなかなか見えてこない。
・弊社は好調である。